

# チャレンジ支援委員会「おせっかい侍の発表応募支援 STEP1」 報告書

チャレンジ支援委員：香月、末松、高橋、濱田、吉川

2025年2月23日 13:00-15:00 オンライン開催

## 「交流ひろばのタネ探しー現場の課題や実践を交流ひろばの出展につなげようー」

2024年度の「おせっかい侍の発表応募支援 STEP1：交流ひろばのタネ探し」（オンライン）は、「課題や実践について対話してタネを見つける」という従来のSTEP1の目的はそのままに、目指すゴールを「口頭・ポスター発表」から「交流ひろば」へと変更して開催しました。当日は、所属も関心も多様な3名の方にご参加いただきました。

まず、「第1部：『はじめての出展』の体験談を聞こう」では、立部文崇氏（周南公立大学）と平山允子氏（日本学生支援機構）にご登壇いただきました。立部氏は、実際の出展申込書の記入例を見せてくださり、自作のコーパスを紹介する出展のご経験をお話してくださいました。コーパスを操作してもらい意見や感想を直に聞くことができるという交流ひろばならではのメリットをご紹介いただきました。平山氏からは、ご自身の悩み（タネ）を初めての出展につなげ、出展した際に知り合った仲間とさらに新しい出展を行うという、交流ひろばに「ハマっていく」プロセスをお話いただき、ネットワークづくりの面からも交流ひろばの魅力をご紹介いただきました。参加者の中には交流ひろばについてほとんど知らない方もいましたが、お二人がご自身の経験を丁寧にお話くださり、また、参加者も全員が質問する時間があつたことで、交流ひろばの出展について明確にイメージすることができたようです。

「第2部：グループワーク『交流ひろばにつなげるタネを一緒に探そう』」では、参加者の方同士でのディスカッションを行いました。チャレンジ支援委員がファシリテーターとして各グループに参加し、時間が足りないほどに活発なやり取りが行われました。その後、全体でディスカッションの内容を共有し、閉会しました。参加者の方々は閉会后に設けていた交流用のブレイクアウトルームに移動し、連絡先を交換したり対話を深めたりしていました。

参加者事後アンケートには参加者全員の方がご回答くださり、全員の方から「満足できた」「役にたった」との回答をいただきました。また、「自分の関心が他の人にもニーズがあるのかという不安があったけど、まずは発信してみようと思った」「全国の交流ひろばを回っていろいろな背景を持つ方と交流したくなった」という嬉しいコメントもいただきました。

今回の企画は少人数だったこともあり、終始アットホームな雰囲気での交流ができました。本企画が参加者の方々にとっての「第一歩（STEP1）」になり、今後の交流ひろばへの出展につながるきっかけとなっていれば幸いです。登壇者および参加者の皆様、どうもありがとうございました。

